

キャンパスライフ サーカル紹介

体育系

ピタツと着地ぎゅつと仲間

体操競技部

杉井 爽花
(生活創造専修家庭科分野四年)

（身体文化専修体育分野三年）

こんにちは。埼玉大学体操競技部です。私たちは、初心者から経験者まで楽しく取り組む「全力青春部」でありながら、全国大会にも出場する「全力熱血部」です。体操競技部では、男子はゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒の六種目、女子は跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの四種目があり、すべての種目の練習ができる環境を整えています。

現在は、一年生から大学院生までの約二十名で活動しており、週に四回、埼玉大学第一体育館を主な練習場所として、学年や年齢の壁を越えて、仲良く・明るく・温かな雰囲気の中で練習しています。先輩・後輩の間でも自然に声を掛け合い、互いに支え合える関係が、技への挑戦や成長をそつと後押ししてくれています。こうした一体感が、体操競技部の大きな魅力になっています。

私たち体操競技部は、年間を通して様々な大会に出場しています。四月の「東日本学生体操競技選手権大会」、八月の「全日本学生体操競技選手権大会」や「関東甲信越大学体育大会」そして十一月の「霜月杯」と、大会

イベントも豊富で、部内の交流もとても盛んです。年末には体育館や器具の大掃除を行ったあとに忘年会を開き、昨年度は、卒業される四年生へ感謝の気持ちを伝える会も行いました。夏には旅行やドライブ企画などもあり、部員同士で楽しい時間を共有しています。こうした行事を通じて、先輩・後輩の垣根を越えて絆を深められることも、体操競技部の大きな魅力の一つです。

このように、多くの大会に出場し、整った環境で日々の練習に取り組むことができているのは、これまで部を支えてくださった先輩方のご活躍と温かいご支援のおかげだと感じています。



第74回関東甲信越大学体育大会の集合写真

を通して日々の練習の成果を発揮できる機会が年間を通してあります。

大会では、初心者から経験者まで、演技に取り組む姿や、応援する姿が印象的です。

これからも埼玉大学体操競技部らしく、元気一杯に活動を続けてまいります。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

私たちがこれらの大会に出場し、バレー・ボーリーに取り組むことができる背景には、OBやOGの方々のご尽力と多くの方々からのご支援があり、日頃から大変感謝しています。

体育会男子バレー・ボーリー部の特色として、他学部・他学年の学生と関わること、人数が少ない分、効率的な練習を行うことが挙げられます。また高等学校では監督が

仲間と共に繋ぐ
体育会男子バレー・ボーリー部
野呂 壮吾
(身体文化専修体育分野三年)

（身体文化専修体育分野三年）

行っていた練習メニューを考えたり、練習試合を持ち帰り、学生は学生が行います。さらには、試合で得た反省点を持ち帰り、学生は学生で練習メニューを考えるなど、主張的に部活動に取り組んでいます。サーカルなどに比べ、活動量は多いものの、自分たちの目標に向かって互いに切磋琢磨していく時間は他の何物にも代え難いです。

私たち体育会男子バレー・ボーリー部は、「繋ぐ」を常に意識しています。これはバレー・ボーリーにおいてだけではなく、四年生の意思を後輩に引き継ぎ、埼玉大学のよさを伝えていくという意味でもあります。これからも目標に向かって精進してまいります。今後ともご支援・ご声援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



関東大学バレー・ボーリー大会の集合写真

